

袖振り合うも多生の縁

禍福はあざなえる縄のごとし

山梨県立甲府南高等学校
第2学年通信

No.25 20150325

文責 名取 高



本日1,2年生は終業式を迎え平成26年度を終了しました。新年度を前に、生徒は不安と期待が入り交じっていることと思います。

今年度最後の学年通信No.25と、修学旅行の会計報告をお届けします。

進路講演会・合格体験談

3月24日(火)に、ベネッセの松崎周平先生と、この春、見事志望校に合格した50期生20名を講師に招いて実施いたしました。松崎先生からは、「得意・苦手の『年間分析』、『圧倒的』な基礎力、『春休みで試す』(計画・実行・修正)」をキーワードに、お話をいただきました。また卒業生の話は、ちょうど1年前のこの時期に受験を意識し始めたこと、暗記物は毎日コツコツ積み重ねるしかないことなど、具体的な経験に基づいたものばかりでした。3年のスタートを切るこの時期に相応しく、良い刺激になったことと思います。



各種表彰の紹介

3月18日(水)の学年集会では、学年で実施してきた古文単語テストと英単語テストの成績優秀者109名を表彰いたしました。また、3月25日(水)の終業式では今年度の皆勤者117名に1カ年皆勤賞を授与しました。

これらの表彰は毎日の積み重ねで得られた成果を讃えるものです。今まで小テストに取り組む意識が低かった生徒には、来年度こそ毎回合格を目指し、また2カ年皆勤の生徒は3カ年皆勤を、今年度皆勤がかなわなかった生徒は、3年次こそ皆勤を目指すという姿勢を持って日々の積み重ねを実現して欲しいと思います。



あわせて、2年生が関わる部活動の活躍をこの紙面をお借りして紹介いたします。第4回関東ヴォーカルアンサンブルコンテストにおいて、本校音楽部は金賞を受賞しました。参加21校中第4位の成績とのこと。また写真部は、山梨県高校写真連盟主催の2014年度冬季審査会 団体の部において優勝。個人の部では2年生の松崎結佳さんの作品(写真)が銅賞に、
松崎結佳さんの作品 中村早希さんが入選、内藤将隆君、三森佳奈さんが佳作
「つめたーい！」 に選ばれました。おめでとうございます。

3年次 土曜理社課外について

新3年では、受験に向けた進捗確保のため、本校教師による理社課外を今年度までの土曜課外・登校学習会に替えて実施いたします。次ページにある通り第1回は4月11日(土)です。詳しくは新年度に進路指導部よりお知らせいたします。

成績データの返却

25日の終業式後に今年度の最終成績と5段階評価を記載した通信票を生徒に配付いたしました。

4月の主な予定



6日(月) 春休み終了
7日(火) 始業式, 新任式, 服装指導, 大掃除,
LHR (12:50 放課)
8日(水) 入学式 (家庭学習日)
9日(木) スタディーサポート 15:40 放課
10日(金) 学年集会, 身体測定, 新体力テスト,
LHR, 進路オリエンテーション, 対面式
11日(土) 理社課外開始
13日(月) 授業開始, 校内実力試験, 部登録,
安全登校指導, 図書館学習開始
14日(火) 放課後課外開始
15日(水) PTA 会計監査
17日(金) 自殺予防教育, 局委員会一斉集会
18日(土) 理社課外
20日(月) 内科検診, 部局委員会責任者会議
21日(火) 内科検診

22日(水) 内科検診
23日(木) 眼科検診, 放課後課外カット,
緑陽祭原案説明会
24日(金) 7校時カット, 進路ガイダンス
PTA 関連行事(役員会, 学年委員会, 全校委員会)
25日(土) 理社課外
26日(日) 全統プレステージ模試
27日(月) 公開授業週間(～5/1)
バイク通学許可式
28日(火) 水曜日授業
29日(水) 学級懇談会, PTA 関連行事(総会,
学年総会, 進路講演会)
30日(木) 眼科検診
※内科, 眼科検診は全学年の実施日を記載してい
ます。3学年の日程が決定しましたら, 再度生徒
を通じて連絡いたします。

この1年を振り返って…51期生に対する今年度1年間の印象と課題です。

- (1) 自分でよく考え, 決めて, 動く…総合的な学習の時間の「第一志望校宣言」や, 模擬試験の志望校記入など, 1年の時よりも具体的な進路希望を答えるよう求められることが多くなりました。しかし, まだ具体的な進路が定まらない生徒がいるのも事実です。3年夏休み明けにはセンター試験出願に向けて, どの科目で受験するか, また推薦・AO入試を含め受験方法はどのようにするかなどを自分で決定しなければなりません。自分を真剣に見つめ, 自分で考えて行動に移し, そしてそれを最後までやりきる姿勢が必要だと考えます。
- (2) キャッチボールを意識したコミュニケーションを心がける…11月の保護者会で紹介した「贈りたい本大賞 ～大切な人に贈りたい一冊～」には, 全生徒が応募し学校賞を頂戴したことは前号で紹介した通りです。その応募作品の中には「大切な人」とある副題を離れ, 自分が読んだ感想とともに, 「(不特定多数の) 多くの人におすすめの一冊です」という内容のものもありました。各教科の試験, 面接や小論文などで, 出題者の意図から外れた解答は評価されません。社会へ出るための準備としても, 相手の意図を酌み, 投げられたボールを求められた場所へ返す力も身につけて欲しいと思います。

～編集後記～

日頃より本校教育活動へのご理解とご協力をいただき深く感謝申し上げます。また, この学年通信「袖振り合うも多生の縁」を, 最後までお読みくださり本当にありがとうございます。

諸行事を中心とした学校生活の様子, 当月の予定, 学年主任の立場で感じていることや直接保護者の方々へお伝えしたいことを中心にお届けして参りました。ご家庭と学校が共通理解を持ち, 同じように生徒と接していくことで彼らの成長はより良い方向に進むと考え発行しております。少しでもお役に立っているようであれば幸いです。今後とも, この51期生をよろしく願っています。